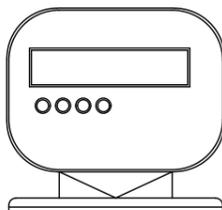
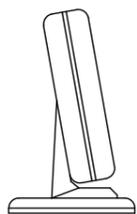


緊急地震速報端末

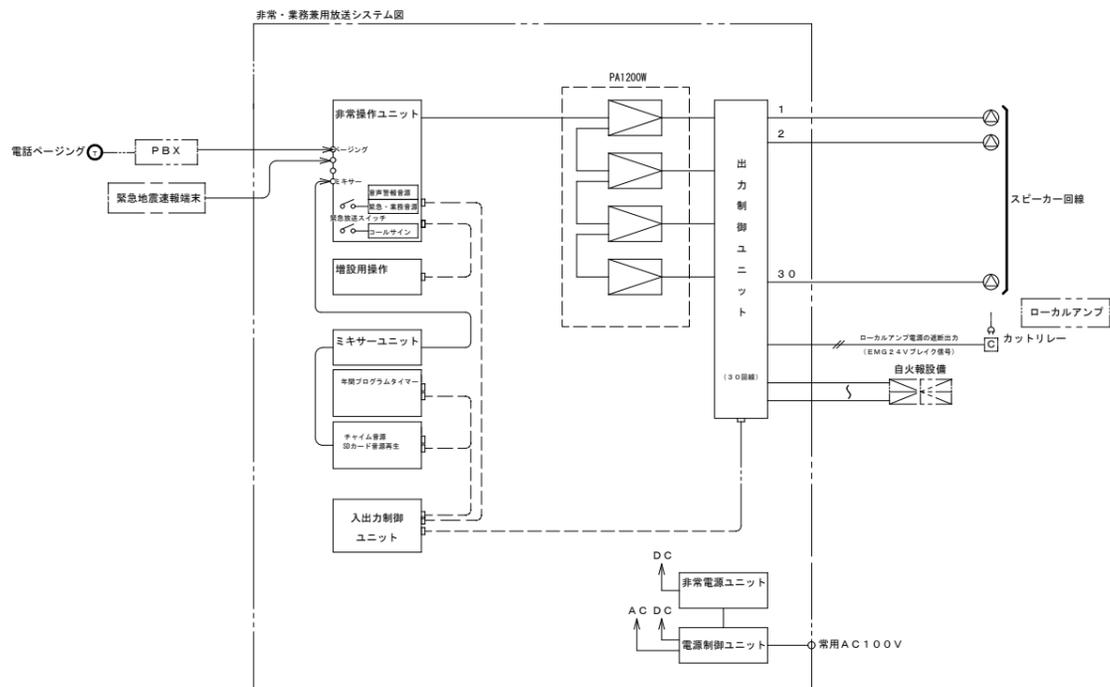


特機仕様

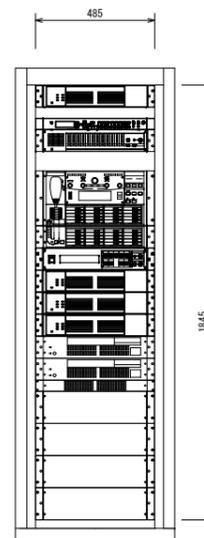
- ・非常放送設備と連動可能なこと
- ・設置後5年間の保守料等別途ランニング経費が不要であること。
- ・通報禁止時間が設定出来ること。
- ・警報震度が自由に決められること。
- ・気象庁の情報をインターネット回線を利用して受信できること
- ・予測震度と猶予時間（ピンポイント情報）を発信すること。
- ・緊急地震速報の受信履歴及び発報履歴が確認できること



非常・業務兼用放送設備 システム図



非常・業務兼用放送架（1200W 40局＋一斉）



参考姿図

- ・非常放送/緊急地震放送/緊急放送/業務放送が行えること。
- ・定格出力：1200W
- ・非常局数：40局 回線数：40回線
- ・音声警報音：第1シグナル音、第2シグナル音、発報放送、火災放送、非火災放送、階情報
- ・入力：ラインx5、マイクx2、緊急入力x1、ページング入力x1、チャイム入力等
- ・コールサイン：上り4音/下り4音
- ・ローカルアンプ制御：緊急放送時にローカルアンプ電源遮断出力
- ・厚生会館スピーカー制御：緊急放送及び一斉放送時にスピーカー切替制御
- ・非常電源：定格出力1200Wに必要な容量（バッテリー共）
- ・タイマー：年間・週間スケジュール、通常時用、定期試験用、入学試験用等設定可能なこと
- ・NTPサーバー接続又はFM受信による時刻補正機能を有すること。
- ・チャイム：ウエストミンスターの鐘他
- ・SDカード音声：オリジナル音源（入試用他）のSDカード録音、再生ができること。
- ・緊急地震速報端末対応：制御信号、音声信号の接続可能なこと
- ・既設機器の撤去及び適正処分を行うこと
- ・収納架は既設再使用とする
- ・非常放送、業務放送の操作説明書を作成し、職員に操作方法の講習を行うこと。

訂正	DATE	訂正事項	担当	承認
1				
2				
3				
4				
5				

公立大学法人 下関市立大学

工事名 下関市立大学非常放送設備改修工事

図名 機器表

縮尺